

アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

新年 あけまして おめでとうございます。本年もよろしく願いたします。

「第31回 市川市招待少年サッカー大会開催」

今年も、新年恒例の「市川市招待少年サッカー大会」を皮切りに、平成28年、2016年スタートしました。今年の「市川招待」は、昨年暮れの第39回全日本少年サッカー大会を制したレジスタFC（埼玉県）が、全少の勢いそのままに、圧倒的な強さで優勝を飾りました。選手個々の技術の確かさ、スピード、球際の強さに加えて、5年生のこの時期ではありえない、チーム戦術の完成度の高さは群を抜いたものでした。

市川FC（市川トレセン）5年も、総勢38名を、1日目の試合会場が塩焼小と稲越小の南北になることから、選手の自宅を参考に、ほぼ南北になるように2チームに分けて参加しました。Aチームは、予選リーグは全勝で1位通過しましたが、2日目の1位リーグでは3連敗。Bチームは予選リーグは得失点差で2位となり、2日目の2位リーグでは1勝2敗と、両チームとも反省点が浮き出た結果となりました。

「チームとして活動しつつ、選手個々を育てる」というコンセプトで、今回の大会で明らかになった良さをさらに伸ばし、身に付けるべきことはさらに身に付け、より良いサッカー選手に育てるべく、トレーニングを積んでいこうと思います。どうぞよろしく願いたします。

さて、この大会は、遠方よりお出でいただいたチームをホームステイすることで成り立っています。宿泊費の軽減に加えて、サッカーを通じて友達を作ることも大きな狙いです。今回も、伊賀上野TC（三重県）、SSS札幌（北海道）、開智SS（長野県）、町田JFC（東京都）、長鶴SS（埼玉県）、東松山TC（埼玉県）、江南南SS（埼玉県）の7チームを、市川FCA、Bに加えて、市川MFC、行徳SC、北浜SSS、南市川JFC、市川中央支部TCの市内5チームがホームステイを引き受けて下さり、会場運営と合わせて大会を支えてくれました。ご協力ありがとうございました。

「Shapo市川CUP2015 第46回市川市少年サッカー親善大会 6年生以下の部開催」

1月9日10日11日と、「Shapo市川CUP2015 6年生以下の部」が開催されました。

今までの「少年サッカー親善大会」に、シャポー市川・本八幡がメインスポンサーになって下さり今年で3年目となります。決勝戦はジェフユナイティッド市原・千葉のホームスタジアム「フクダ電子アリーナ」で、しかも、ジェフユナイティッド市原・千葉のJリーグ開幕戦の前座ゲームとして行われます。また、開催に向けた大型ポスターも作成して下さり、JR市川駅や、JR本八幡駅に掲示され、否が応にも盛り上がりを感じています。

このお話をいただいた時、夢かと思いました。「フクダ電子アリーナ」で…？ 開幕戦ということは、ジェフのサポーターの前で…！ さぞかし子ども達は喜ぶだろうと思いました。その場で即決したのを覚えています。そして、きっとすべてのチームが、フクアリを目指して頑張ってくれるだろうと思いました。

今年勝ち残ったのは、フッチSCと南市川JFC。そして2月28日（日）に開催と決まりました。あと一か月と少し。2チームとも当日に備え、さらにサッカーに磨きをかけ、小学校最後のゲームを楽しんで欲しいと思います。

※委員長通信をしばらく、配信できず、申し訳ありませんでした。お叱りや、期待のお言葉ありがとうございました。なんとか、今年がんばります。